



## 附属書 - セカンド・パーティ・オピニオン

# ANNEX - SECOND PARTY OPINION

キリンホールディングス株式会社

ソーシャルファイナンス

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2025 年 2 月 14 日

Ref. Nr.: RJN-60868-2024-ANX-JPN-01

本報告書は、キリンホールディングス株式会社が策定したキリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク(以下、フレームワーク)に基づき評価した「キリンホールディングス株式会社 キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク セカンド・パーティ・オピニオン(以下、マスター-SPO)」(Ref. Nr.: PRJN-608685-2023-AST-JPN-01\_Rev1 \* 2025 年 2 月 14 日)に依拠します。

\* 附属書(ANNEX)-セカンド・パーティ・オピニオンについての詳細は、以下の DNV ウェブサイトをご参照ください

<https://www.dnv.jp/news/page-227965> 新しい評価サービスのリリース(マスター-SPO+ANNEX)

## 報告書サマリー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下、DNV)は、キリンホールディングス株式会社(以下、キリンホールディングス)が調達する予定のソーシャルファイナンスが、適格性を評価済み<sup>\*1</sup>の同フレームワーク<sup>\*2</sup>に基づき、当該ファイナンス調達に必要な各種原則やガイドラインを満たし、適切な内部プロセスを経て調達及び管理される計画であることを確認しました。

\*1：キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク セカンド・パーティ・オピニオン

\*2：キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク

表-1 に調達予定のソーシャルファイナンス及び ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンの概要について示します。表-1 から、ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンでの追加評価対象項目は、資金用途を特定したファイナンス(4つの要素に対する対応)のうち、要素-1(資金用途)及び要素-4(レポーティング)です。その他の要素の基準への適合については、既に同フレームワークに基づき、適格性評価は完了しています。

表-1 ソーシャルファイナンス ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオン

対象ファイナンス	ソーシャルファイナンス	
対象組織	キリンホールディングス株式会社	
対象フレームワーク	キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク	
対象外部レビュー	同上 セカンド・パーティ・オピニオン Ref. Nr.: PRJN-608685-2023-AST-JPN-01_Rev1 2025年2月14日発行	
対象基準	ソーシャルファイナンスに対する基準	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソーシャルボンド原則 (国際資本市場協会、2023)</li> <li>- ソーシャルローン原則 (ローン・マーケット・アソシエーション等、2023)</li> <li>- ソーシャルボンドガイドライン (金融庁、2021)</li> </ul>	
資金用途を特定したファイナンス (4つの要素に対する対応)	要素-1(資金用途)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワークに依拠することを確認。以下追加評価を実施。</li> <li>・ ファンケル買収</li> </ul>
	要素-2(PJ評価&選定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワークに依拠することを確認。</li> </ul>
	要素-3(調達資金管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワークに依拠することを確認。</li> </ul>
	要素-4(レポーティング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワークに依拠することを確認。以下追加評価を実施。</li> <li>・ 社会的便益：ファンケル商品へのアクセス</li> </ul>

DNV は外部レビュー機関として、フレームワークをはじめとするキリンホールディングスより提供された関連文書・情報に基づく評価により、今回キリンホールディングスが実施する予定のソーシャルファイナンスの資金用途及びレポーティングに対する適格性評価を提供しました。また、その他の項目については、変更が無いこと(フレームワークに準ずること)を確認しました。

## 目次

報告書サマリー	2
Ⅰ. スコープと目的	4
Ⅱ. キリンホールディングス及び DNV の責任	5
Ⅲ. DNV 意見の基礎	6
Ⅳ. 評価作業	7
Ⅴ. 観察結果と DNV の意見	8
Ⅵ. 評価結果	12
スケジュール-1 ソーシャルファイナンス適格プロジェクト	13

### 発行履歴

発行日	主な発行内容
2025年2月14日 今回報告書(初版)	調達予定のソーシャルファイナンスに対する ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンとして作成・発行

### Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per Scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

### Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct<sup>1</sup> during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

<sup>1</sup> DNV Code of Conduct is available from DNV website ([www.dnv.com](http://www.dnv.com))

## I. スコープと目的

キリンホールディングスは DNV に調達予定のソーシャルファイナンスの調達前評価を委託しています。DNV におけるソーシャルファイナンスの調達前評価の目的は、キリンホールディングスが、後述する資金用途特定型のファイナンスの基準となる SBP・SLP・SBGL に合致していることを確認するための評価を実施し、調達予定のソーシャルファイナンスの適格性について ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

DNV は独立した外部レビュー機関として ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、キリンホールディングスとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、調達予定のソーシャルファイナンス及び今後このフレームワークに基づき調達されるファイナンスの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

### (1) レビューのスコープ\*

レビューは以下の項目について評価し、SBP・SLP・SBGL の主要な 4 要素の主旨との整合性について確認されました

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の用途 | <input type="checkbox"/> プロジェクトの選定と評価のプロセス  |
| <input type="checkbox"/> 調達資金の管理            | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング |

\* 「プロジェクトの選定と評価のプロセス」及び「調達資金の管理」については、既にレビューを完了しており、以下で意見表明をしています。調達予定のソーシャルファイナンスにおいて変更が無く、追加評価の必要が無いことをキリンホールディングスへのアセスメントを通じて確認しています。

「キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワークセカンド・パーティ・オピニオン」

Ref. Nr.: PRJN-608685-2023-AST-JPN-01\_Rev1 2025 年 2 月 14 日発行

### (2) レビュー提供者の役割

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> セカンド・パーティ・オピニオン | <input type="checkbox"/> 認証  |
| <input type="checkbox"/> 検証                         | <input type="checkbox"/> 格付け |
| <input type="checkbox"/> その他 :                      |                              |

### (3) 適用される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者
1.	ソーシャルボンド原則 (SBP)	国際資本市場協会(ICMA)、2023
2.	ソーシャルローン原則 (SLP)	ローン・マーケット・アソシエーション(LMA) 等、2023
3.	ソーシャルボンドガイドライン (SBGL)	金融庁、2021



## II. キリンホールディングス及び DNV の責任

キリンホールディングスは、DNV がレビューを実施するために必要な情報やデータを提供しました。DNV の ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについてキリンホールディングス及び調達予定のソーシャルファイナンスの利害関係者に情報提供することを意図しています。我々の業務は、キリンホールディングスから提供された情報及び事実に依拠しています。DNV は、この意見表明の中で参照する選定された活動のいかなる側面に対して責任がなく、キリンホールディングスから提供された情報及び事実に基づく試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、キリンホールディングスの関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われないものとします。



### III. DNV 意見の基礎

DNV は、資金調達者であるキリンホールディングスにとってより柔軟な ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンを提供するため、今回の主要な評価対象を特定し、その評価手順に基づき評価を行いました。

DNV はこの手順に基づく評価により、独立した外部レビュー機関として ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンを提供いたします。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。意見表明の基準となる資金用途を特定したソーシャルファイナンスの背景にある包括的な原則は、以下の通りです。

「社会的便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」

DNV の手順に従って、調達予定のソーシャルファイナンスに対する基準は、下記の要素にグループ分けされます。

今回の ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンの追加評価の対象は、(1)SBP・SLP・SBGL の 4 つの共通要素のうち、要素 1 及び要素 4 です。

(1)の一部は、既に適格性評価が完了しています。(1)の一部の適格性評価結果の詳細は、「キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワークセカンド・パーティ・オピニオン」(Ref. Nr.: PRJN-608685-2023-AST-JPN-01\_Rev1 2025 年 2 月 14 日発行)で確認することが出来ます。

#### (1) SBP・SLP・SBGL の 4 つの共通要素

##### 要素1. 調達資金の用途 \* ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンの追加評価の対象

調達資金の用途の基準は、資金用途を特定したソーシャル・ファイナンスの資金調達者がソーシャル・ファイナンスにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な社会改善効果を提供するものです。

##### 要素2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

プロジェクトの評価及び選定の基準は、ソーシャル・ファイナンスの資金調達者が、ソーシャル・ファイナンス調達資金を用途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。

##### 要素3. 調達資金の管理

調達資金の管理の基準は、ソーシャル・ファイナンスが資金調達者によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。

##### 要素4. レポーティング \* ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンの追加評価の対象

レポーティングの基準は、ソーシャル・ファイナンスの資金提供者に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

## IV. 評価作業

DNV の評価作業は、資金調達者によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、資金調達前の評価では、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。

DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

### i. 資金調達前アセスメント(ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオン)

- ソーシャルファイナンスに関して資金調達者より提供された追加的な根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照。
- 資金調達者との協議及び、関連する文書のレビュー。
- 追加評価を行う基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

### ii. 資金調達後アセスメント(定期レビュー)( \*この報告書には含まれません)

- 資金調達者の管理者へのインタビュー及び関連する文書のレビュー。
- 現地調査及び検査(必要な場合)。
- 調達後アセスメント結果の文書作成。

## V. 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見の概要は、以下の通りです。

詳細は、スケジュール-1 を参照してください。

### SBP・SLP・SBGL-1. 調達資金の使途

DNV は、ソーシャルファイナンスを通じて調達する資金が、SBP・SLP・SBGL で示される以下の適格プロジェクト (表-2) に充当される計画であることを確認しました。具体的には、キリンホールディングスが全世界の人々のより多くの健康課題の解決を通じて更なる経済的価値・社会的価値を創出するための、ファンケル株式会社 (以下、ファンケル) の株式取得です。

資金使途対象はファンケルの株式取得額 (買収額) のうち、SBP・SLP・SBGL に適合する事業セグメントや商品売上高の割合を按分した額をソーシャルファイナンスの充当可能額 (評価額) として試算・設定し、その一部にソーシャルファイナンスによる調達資金を全額充当する予定です。

DNV は、キリンホールディングスが試算した充当可能額 (評価額) の結果を確認するとともに、その結果の範囲内で資金調達を行う予定であることを確認しています。

表-2 ソーシャルプロジェクト (詳細はスケジュール-1 を参照してください)

No.	ソーシャルプロジェクト			社会課題
	ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益	
1	ファンケルの株式取得	一般大衆 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 健康・長寿の達成</li> <li>- 超高齢化社会への対応</li> <li>- 「治療」から「予防」(未病対策)</li> <li>- 女性活躍促進</li> </ul>

### ファンケル取扱商品の概要

ファンケルは、「美」と「健康」を中心に、美の領域では化粧品事業、肌着・雑貨事業を、健康の領域ではサプリメント事業、発芽米事業、青汁事業を、日本・中国等のアジアを中心に展開しています。

同社は「正義感を持って世の中の“不”を解消しよう」を創業理念に掲げ、不安・不便・不満、「不」のつく言葉を世の中からなくすことに取り組んでいます。化粧品による肌トラブルが社会問題になっていた 1980 年に、「添加物をいっさい使わず、使う人の肌を美しくする本物の化粧品を届けたい」という思いから、無添加化粧品を誕生させました。また、高価なイメージが定着していた栄養補助食品を「サプリメント」という言葉と共に世の中へ定着させ、青汁・発芽米などの高付加価値商品を送りだしてきました。

### 買収を資金使途とする妥当性

国際的な ESG ファイナンスの基準において適切な資金支出の例として M&A が挙げられ、何らか市場価値に相当する部分を適切な支出とすることが認められており、キリンホールディングスはこの考え方を採用しています。

そして、キリンホールディングスはファンケルの展開する事業セグメントやその商品のうち SBP・SLP・SBGL に合致する主要商品カテゴリーの売上高で全商品売上高を按分するなどして充当可能額 (評価額) を算出し、その一部にソーシャルファイナンスによる調達資金を充当する計画です。





DNV はレビューを通じて、キリンホールディングスの評価プロセスが適切であること、試算した充当可能額(評価額)の範囲内で資金調達を行う予定であることから、ソーシャルファイナンスによる調達資金の全額がファンケル買収資金の一部として充当されることは妥当であると判断します。

### SBP・SLP・SBGL で分類される調達資金の用途

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 手ごろな価格の基本的インフラ設備                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠なサービスへのアクセス  |
| <input type="checkbox"/> 手ごろな価格の住宅   | <input type="checkbox"/> 雇用創出(中小企業向け資金供給及びマイクロファイナンス) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 食糧の安全保障と持続可能な食料システム                    | <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済的向上とエンパワーメント  |
| <input type="checkbox"/> SBP 分類に適合すると考えられる、もしくは SBP には記載されていないが適格性のある領域である | <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載) :                |

## SBP・SLP・SBGL-4. レポートニング

DNV は、調達資金が全額充当されるまでの間、キリンホールディングスが調達予定のソーシャルファイナンスの充当状況(充当額および未充当額)を年次でウェブサイト上に公表することを確認しました。また、初回のレポートニングは、資金調達後の翌年度に公表する予定です。なお、調達資金の全額充当後、大きな変更が生じる等の重大な事象が生じた場合は適時に開示する予定です。

### <資金充当状況>

- ◆ 充当対象となる適格プロジェクト及び充当金額
- ◆ 未充当金の残高及び運用方法

### <社会的便益>

キリンホールディングスが、現時点で想定するレポートニング指標については下表の通りです。現時点で想定する指標はファンケル栄養補助食品の認知度ですが、今後のファンケルとの事業展開に応じて、実務上可能な範囲でその取組内容についてレポートニングする予定です。

表-3 レポートニング指標

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
ファンケルの株式取得	ファンケルの子会社化	ファンケルが取り扱う製品へのアクセス向上 (ファンケル栄養補助食品の認知度)	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献



### 資金充当状況に関する報告事項

- プロジェクト単位
- プロジェクトポートフォリオ単位
- 関連する個々のファイナンス単位
- その他(具体的に記載) :

#### 報告される情報

- 資金充当額
- 投資総額のうちソーシャルファイナンスにより充当された額割合
- その他(具体的に記載) :

#### 頻度

- 毎年
- 半年ごと
- その他(具体的に記載) :

### インパクトレポート(社会的便益)

- プロジェクト単位
- プロジェクトポートフォリオ単位
- 関連する個々のファイナンス単位
- その他(具体的に記載) :

#### 頻度

- 毎年
- 半年ごと
- その他(具体的に記載) :

#### 報告される情報(予測される効果、若しくは調達後)

- 製品の継続使用者数
- その他の ESG 評価項目(具体的に記載) :  
ファンケル商品へのアクセス(ファンケル栄養補助食品の認知度)

### 開示方法

- 財務報告書に記載(統合報告書)
- サステナビリティレポートに記載
- 臨時報告書に記載
- その他(具体的に記載) : ウェブサイトで開示
- レビュー済報告書に記載(この場合は、外部レビューの対象となった報告項目を具体的に記載) :



## VI. 評価結果

DNV は、キリンホールディングスから提供された情報と実施された業務に基づき、調達予定のソーシャルファイナンスが、適格性評価手順の要求事項を満たしており、SBP・SLP・SBGL を意見表明の基準とした資金用途を特定したファイナンスの以下の定義・目的と一致していることを意見表明します。

「社会的便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2025 年 2 月 14 日

金留 正人

テクニカルレビューアー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

前田 直樹

代表取締役/SCPA シニアヴァイスプレジデント

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

塚崎 旭

プロジェクトリーダー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

宮本 育昌

アセッサー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

### About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

### Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV: The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete.

## スケジュール-1 ソーシャルファイナンス適格プロジェクト

No.	ソーシャルプロジェクト分類		ソーシャルプロジェクト			社会課題	SDGsへの 貢献
	事業区分	事業区分の細目	ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益		
1	必要不可欠なサービスへのアクセス  食料の安全保障と持続可能な食料システム  社会経済的向上とエンパワーメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 健康、健康管理</li> <li>- 食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス</li> <li>- 食生活改善・未病対策</li> </ul>	ファンケルの株式取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 一般大衆</li> <li>- 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々</li> </ul>	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 健康・長寿の達成</li> <li>- 超高齢化社会への対応</li> <li>- 「治療」から「予防」(未病対策)</li> <li>- 女性活躍促進</li> </ul>	  